

平成 21 年 5 月 25 日

総合科学研究支援センター 生体情報・RI実験分野 バイオ実験技術セミナー

「質量分析器を用いたバイオマーカー探索」
～ 同定・定量の基礎から最新技術まで～

拝啓

ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、サーモフィッシャーサイエンティフィック社による質量分析器セミナーを開催することになりましたので、ご案内申し上げます。質量分析器を用いたバイオマーカー探索から目的に応じた定量方法について、最新技術やソフトウェア情報を交えながらご紹介いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

敬具

記

開催日時 : 平成 21 年 6 月 1 日 (月) 15 時～16 時 15 分

場 所 : 島根大学図書館 医学分館 3 階 視聴覚室 (出雲キャンパス)

講 師 : (1) 高旗 誠 氏 (サーモフィッシャーサイエンティフィック社)
(2) 窪田 雅之 氏 (同 上)

概 要 :

- (1) 生命科学研究の対象とされるタンパク質/ペプチド・代謝物の同定や構造解析にはイオントラップ型質量分析計、及び高精度分析にはフーリエ変換質量分析計が用いられています。前半部ではLC-MS/MSの基礎と分析例、また研究の効率をより高めるためのデータ解析技術や、組織イメージングといった質量分析技術の最新のトピックスについてご紹介いたします。
- (2) タンパク質の定量情報を得るためには膨大なサンプルを分析する必要があります。そこで、トリプル四重極型LC-MS/MSを用いた高速・高感度・高精度な定量方法と、in-silico でタンパク質を酵素消化したペプチドから、定量に最適なものを予測し、分析メソッドの作成・解析を行うソフトウェア”SRM Workflow”についてご紹介いたします。



総合科学研究支援センター・生体情報・RI実験分野
分野長 富岡 治明
教授 松本 健一
助教 浅井 正俊